

marantz®

Model

RC1400

取扱説明書

Learning

Remote Control

安全上の注意

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、過った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、過った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

左図の場合は分解禁止が描かれています。



△記号は注意・危険を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は、一般的な注意が描かれています。

警告



分解禁止

- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- この機器に水が入ったり、ぬらしたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水面での使用は特にご注意ください。



- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

注意



- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、種類の異なる電池（アルカリとマンガンなど）を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 電池、電池ケースは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子とマイナス端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。



- 電池は、過熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

主な特長	2
各部の名称と機能	4
ボタン名称と機能	4
表示部の表示	6
設定モード時の表示と機能	7
PAGE1 MENU	7
PAGE2 SETUP	7
PAGE3 TIMER	8
PAGE4 CLONE	8
電池を入れる	9
電池の交換時期について	10
時計の合わせかた	11
時刻を確認する	12
基本動作説明	13
USEモード	13
PRESETモード	14
メーカー番号を直接入力して設定する	15
メーカー番号一覧表にない機器を 設定する	16
LEARNモード	17
▶(PLAY)などのコントロールボタンや 数字ボタンなどへの学習	17
ダイレクトボタンへの学習と名前の 書き換え	18
名前の書き換え	20
学習したコードの消去(初期状態に戻す) ...	21
ボタン毎の消去とダイレクトボタン部 の消去	21
ダイレクトボタン部ページ毎の消去	23
ソース毎の消去	24
全消去	24
マクロのプログラム	26
マクロプログラム	27
マクロプログラムの実行	28
マクロプログラムの名前変更	29
マクロプログラムのステップを削除する ..	30
マクロプログラムのステップを上書追加 ..	31
マクロプログラムのステップを挿入	32
マクロプログラムを消去	32
マクロタイマーの設定をする	33
マクロタイマーの実行	34
クローンモード	35
クローンモードでコピー品を作る	35
全体をコピーする	35
ソース毎にコピーする	36
セットアップ	38
ライティング時間の設定	38
マクロのインターバルタイムを設定	39
表示部のコントラストを調整	39
時計の合わせかた	40
その他	41
電池の寿命について	41
学習可能コード	41
学習可能コード数について	41
学習可能コードについて	41
仕様	41
ダイレクトボタン部の表示と動作	42

主な特長

■12の機器の集中コントロール

DVD、テレビ、ビデオ、アンプなど12種類の機器のコントロールが本機1台でできるようになります。

ソース表示もお好みの文字に変更ができます。

■豊富なプリセットコード

マランツ製品や主なメーカーのAV機器のリモコン信号があらかじめ記憶されています。AV機器のメーカーコードを選ぶことにより、お手持ちのAV機器をリモコン操作できるようになります。

工場出荷状態では、マランツ製品のAV機器のリモコン信号が設定されています。マランツ製品をお使いの場合は、そのままAV機器が操作できます。

■学習機能

お手持ちのリモコンが赤外線方式のリモコンであれば、簡単な操作でコードを記憶させることができます。

また、不揮発性メモリを採用しているため学習したコードは電池を抜いても消えません。

■ライティング機能

本機はホームシアターなどで、周囲が暗い場所でも使用できるように、エレクトロルミネッセンス(EL)を使ったバックライトを採用しています。液晶ディスプレイ(LCD)とボタン全体が光ります。

■見やすい大型ディスプレイ

ドットマトリクス表示の液晶ディスプレイにより、見やすい文字の表示ができます。

現在選ばれているソースは表示部に常に表示されますので、すばやい機器の操作ができます。

■ダイレクトボタン

表示部を見ながら、表示に対応したボタン操作が直感的にできます。ページは4ページ分あり、ページの切り替えにより1つの機器で最大20種類の操作ができます。

■マクロ機能

複数の連続したボタン操作を順番にプログラムすることにより、簡単なボタン操作で機器を連続的にコントロールすることができます。各操作ごとにインターバルタイム(送信間隔)を設定できます。

■ 名前登録機能

表示部の名前を書き換えることができます。

■ クローン機能

学習済みの本機のコピー品がボタン操作で簡単にできるクローンシステムを採用しました。学習した全ての内容をコピーする方法とソースごとにコピーする方法が選べます。

■ 表示部コントラスト調整機能

表示部のコントラストが調整できます。

■ 時計表示・マクロタイマー機能

本体内部の時計機能を使ってタイマーの設定をすることにより、マクロプログラムで機器の電源オン/オフなどが自動的にできます。

各部の名称と機能

ボタン名称と機能

① 送信／学習用赤外線受光部

ここから赤外線が発射されます。アンプなどの赤外線受光窓に向けてボタンを押して下さい。他のリモコンから学習するときにも、ここに向けて行います。

② POWER ON OFFボタン

システムのセンターとなるアンプやレシーバーの電源をON/OFFするときや、ソースの電源を単独にON/OFFするときに使います。

③ SOURCE ON/OFFボタン

DVDプレーヤー等のソースの電源をON/OFFするときに使います。

④ M(モード)ボタン

MACROのプログラムやリモコンの設定をするときに使います。ボタンを押すごとに通常モード、MACROモードに切り替わります。

ページの移動は、>ボタン⑥を押します。最大20個(4ページ分)のプログラムができます。Mボタンを3秒以上押すと設定モードに切り替わり、表示部に設定メニューが表示されます。設定メニューは4ページ分あり、ページの移動は、>ボタン⑥を押します。

PAGE4から>ボタン⑥を押すとPAGE1に戻ります。

⑤ D1-D5(ダイレクト)ボタン

DVD、テレビ、アンプなどの12のソースボタン毎に5種類のダイレクト操作ができます。ページの切り替えができますので、1ソースに対し4ページ×5種類=20通りの操作ができます。表示文字の変更もできます。

⑥ >(ページ)ボタン

ダイレクトボタンのページを切り替えるときに使います。現在のページは、表示部に表示されます。

⑦ VOL(ボリューム)ボタン

アンプやテレビ等のボリュームを調節するときに使います。

⑧ MUTE(ミュート)ボタン

アンプやテレビ等の音声をミュートするときに使います。

⑨ GUIDE(ガイド)ボタン

DVDプレーヤーやDSS(衛星放送チューナー)等のメニューを出すときに使います。

⑩ EXIT(エグジット)ボタン

メニューやプログラムの設定途中で、中止するときに使います。

⑪ 数字ボタン

各ソースの0~9を切り替える時に使います。ソースがアンプのときには、表示に対応した操作ができます。

⑫ MEMO(メモ)ボタン

各ソースのメモリーやプログラムをするとき等に使います。

⑬ CONTROL(コントロール)ボタン

各ソースのPLAY、STOP、PAUSE等を操作するときに使います。

⑭ SOURCE(ソース)ボタン

アンプのソースを切り替えるときに使います。このボタンを押すことにより、リモコンが押ししたソース用が変わります。このリモコンは12種類の機器をコントロールできます。アンプのソースを切り替えるときには、ボタンを2秒以内に2回押ししてください。2回目で信号が送信されます。

⑮ LIGHT(ライト)1、2ボタン

このボタンを押すと、表示部ディスプレイ、ボタンが照光します。照光時間の設定ができます。照光時間を0秒に設定した場合はこのボタンを押している間だけバックライトが点灯します。LIGHT 1、2の動作は同じです。

⑯ CLEAR(クリアー)ボタン

各ソースのメモリーやプログラムを消去するとき等に使います。

⑰ MENU(メニュー)ボタン

アンプ等のOSDメニューを出すときに使います。

⑱ PREV(プレビアス)ボタン

リモコンで切り替えた直前のテレビなどのチャンネルを呼び出します。

⑲ CH(チャンネル)ボタン

テレビのチャンネル等の切り替えをします。

⑳ CURSOR(カーソル)ボタン

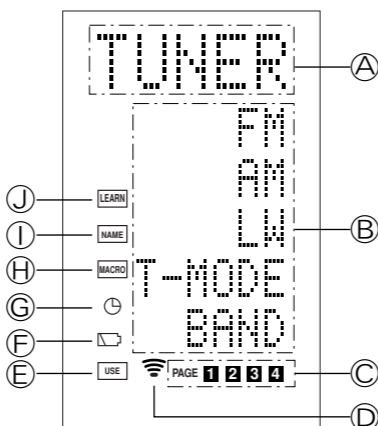
アンプやDVD等のカーソルコントロールをするときに使います。

㉑ 表示部

各ソース名やモード名などのメッセージがこの表示部に表示されます。

表示部の表示

現在選ばれているソース名やダイレクトコード名などのメッセージがこのディスプレイに表示されます。



① ソース名表示

選択されているDVD、テレビなどのソース名を表示します。(最大5文字)

② ダイレクトボタン名表示

ソース毎に20種類のボタン名の表示をします。(最大6文字)

③ ページ表示

現在のページ位置を表示します。

④ 送信表示

リモコンコードを送信している間、この表示が点灯します。

⑤ USE表示

通常は、この状態で使用します。

⑥ 電池残量表示

電池の残量が少なくなってきた時に表示します。

⑦ TIMER表示

マクロタイマーが設定されているときに表示します。

⑧ MACRO表示

リモコンがマクロのプログラム状態になっているときに表示します。

① NAME表示

リモコンが名前の変更モードになっているときに表示します。

② LEARN表示

リモコンが学習状態になっているときに表示します。

設定モード時の表示と機能

Mボタンを3秒以上押すと各種の設定ができます。

ページの切り替えは>ボタン⑥を押します。

PAGE1 MENU

プリセットコードの設定、コードの学習、名前の書き換え、マクロのプログラム、コードの消去の設定をします。

D1 PRESET:

各メーカーのAV機器を使用する場合の設定に使用します。

マランツのTVとDVDコードの選択時にも使用します。

D2 LEARN:

別のリモコンからコードを学習するときに使用します。

D3 NAME:

表示部に表示する文字を変更するときに使用します。

D4 MACRO:

マクロをプログラムするときや、プログラムを修正するときに使用します。

D5 ERASE:

学習したリモコンコードや書き換えた名前などを消去するときに使用します。

消去後は工場出荷状態に戻ります。

PAGE2 SETUP

バックライトの照光時間、マクロのインターバル時間、表示部のコントラスト、時間設定など特殊な設定をします。

D1 LIGHT:

表示部やボタンのバックライト点灯時間を変更するときに使用します。

0秒から60秒の間で、カーソルボタンを使って設定します。

D2 I-TIME:

マクロプログラムの送信間隔(インターバル時間)を設定するときに使用します。

0.5秒から5秒の間で、カーソルボタンを使って設定します。

D3 CONT:

表示部のコントラストを変更するときに使用します。10段階の間でカーソルボタンを使って設定します。

D4 CLOCK:

現在の時刻を設定するときに使用します。

PAGE3 TIMER

マクロタイマーの設定をします。

D1 DAILY?:

タイマー機能を使ってマクロを実行するときに使用します。毎日同じ時間にプログラムを実行する場合にDAILYを使用します。

D2 ONCE?:

タイマー機能を使ってマクロを実行するときに使用します。一回だけプログラムを実行する場合にONCEを使用します。

D5 CANCEL:

設定したタイマーを取り消すときに使用します。

PAGE4 CLONE

クローンモードの設定をします。

D1 RX:

別のリモコンRC1400の学習した内容を丸ごとコピーするときに受信側(スレーブ)として使用します。

D2 RX-S:

別のリモコンRC1400の学習した内容をソースごとにコピーするときに受信側(スレーブ)として使用します。

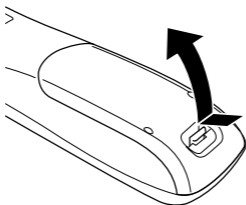
D3 TX:

別のリモコンRC1400へ内容をコピーするときに送信側(マスター)として使用します。

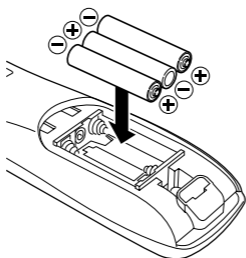
電池を入れる

付属の単4電池3本を図のように入れます。極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意して正しくセットしてください。

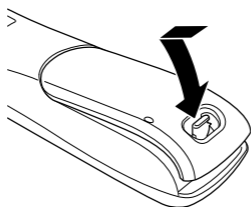
- 1 本機の裏面の電池フタのつまみを矢印の方向につまみ、上に引き上げます。



- 2 新しい単4形乾電池3本を、極性表示(⊕:プラスと⊖:マイナスの向き)に注意し、表示通りに正しくセットしてください。



- 3 電池フタを元の位置にセットし、矢印の方向へ押して閉めます。



■注意：

古い電池と新しい電池をいっしょに使用しないでください。腐食・液漏れの原因となることがあります。

付属のマンガン電池は、操作の確認用です。ご使用の際にはアルカリ電池をおすすめします。

電池を廃棄する時は、お住まいの市区町村の条例または指示にしたがってください。

電池は火に投げ入れないでください。

電池の交換時期について

通常の使用状態では、アルカリ乾電池の場合約4ヶ月もちます。電池が消耗した場合、表示部に電池マークが表示されます。

電池マークが、表示中でもリモコンの使用はできますが、ボタンを押して送信するときに表示部がちらつくようになると信号の送信や学習ができなくなりますので早めに電池を交換して下さい。

- ・本機には不揮発性メモリーを使用しているの
で、電池を抜いても学習したコードやマクロ
プログラムは消滅しません。

電池を交換したら時計を合わせてください。

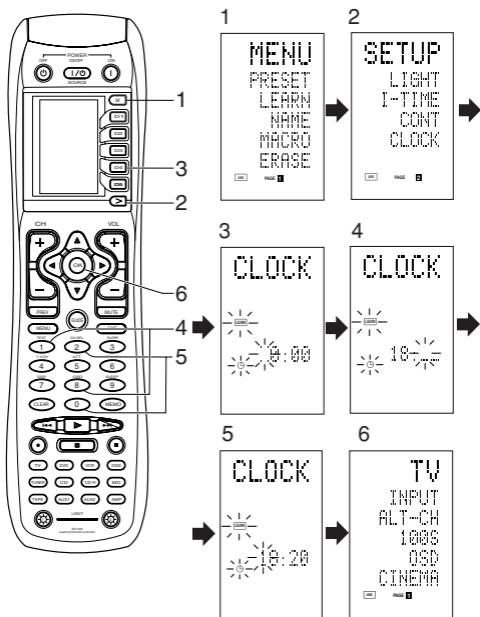
電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため下記のことを必ずお守りください。

- ・長時間放置すると乾電池の液漏れやまた腐食することがあります。
- ・リモコンの乾電池の＋と－の位置をまちがえてお使いにならないでください。
- ・乾電池を充電したり、暖めたり、また分解などしないでください。乾電池を火の中に投げ入れしないでください。
- ・古い乾電池、また使い切った乾電池はリモコンの中に入れてお使いにならないでください。
- ・異なったタイプの乾電池を使用したり、また古い乾電池と新しい乾電池をいっしょにお使いにならないでください。
- ・リモコンが正常に作動しない場合は、乾電池を新しいものと入れ替えてください。
- ・乾電池の液が漏れた場合は、漏れた液体をきれいに拭き取り、新しい乾電池と入れ替えてください。

時計の合わせかた

(例)午後6時20分(18時20分)に合わせる場合



本品をご購入後、始めて電池を入れる場合は、手順の4の操作より始まります。手順の1～3は、省略されます。

- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
MENUが表示されます。
- 2 >ボタン⑥を1回押します。
ページ2 (SETUP) にします。
- 3 ダイレクトボタン⑤のD4ボタン (CLOCK) を押します。
「時」表示部の「:」が点滅します。
- 4 数字ボタン⑪の1と8を押します。
「時」表示部に18が表示されます。
「分」表示部の「_」が点滅します。
- 5 数字ボタン⑪の2と0を押します。
「分」表示部に20が表示されます。
「時」表示部が点滅します。
- 6 カーソルボタン⑳のOKを押し、時計をスタートさせます。
時計は、設定した時刻の0秒からスタートし、通常 (USE) モードに戻ります。

電池を交換した際は、時計は00：00を表示します。再度時刻設定を行ってください。（時刻設定のバックアップはしていません）

時刻を確認する

時刻を確認するときには>ボタン⑥を3秒押します。5秒間現在の時刻を表示します。

■注意：

時計は、クォーツですが、お使いになっている間に、時刻がずれる場合があります。時々正しい時刻に修正してください。


基本動作説明

USEモード

(通常の使用状態)

本機には、マランツ製のTV(テレビ)、DVD、VCR(ビデオデッキ)、DSS(衛星放送チューナー)、TUNER(チューナー)、CD、CD-R、MD、TAPE(テープデッキ)、AUX1、AUX2、AMP(アンプ)の計12種類のリモコンコードがプリセットされています。

マランツ製品をご使用の場合、学習は不要です。そのままご使用いただけます。

- 1 ソースボタン⑭を押します。
ここでは例としてDVDを押します。
表示部にDVDが表示され、リモコンがDVD用に設定されます。
ソースボタンを1回押すことでリモコンが押されたソース用の設定に変わります。
アンプ等のソースを変えるときは、ソースボタンを2回押し(ダブルクリック)します。コードが送信されてアンプのソースがDVDに変わります。
- 2 各ボタンを押して、DVDを操作します。
リモコンコードが送信されている間は表示部にが表示されます。コードが記憶されていないボタンを押したときには表示しません。
- 3 ダイレクトボタン⑤でDVD、TV、AMPなど12のソース毎に最大20通りの操作ができます。
ボタンはD1～D5まであり、表示部画面の表示に対応するボタンを押して機器の操作をします。
ページは4ページあり、選択をするには、>ボタンを押します。今のページの位置は表示部に表示されます。

PRESETモード

(マランツ製品以外のAV機器を操作する)
本機には他社製のAV機器のリモコンコードがプリセットされています。
プリセットコードは、TV、VCR、LD、CABLE、DSS、DVD、TAPE、TUNER、CD、CD-R、MD、AMPがあり、設定には2通りの方法があります。
プリセットコードを設定した場合、本機のソースボタンには以下のコードが入ります。

プリセットされているメーカー、機器、プリセット番号などは添付のメーカー番号一覧表をご覧ください。

リモコンのソース名	対応するプリセットコード	機器名
TV	TV	テレビ
DVD	DVD	DVDプレーヤー
VCR	VCR	ビデオデッキ
DSS	SATELLITE	衛星放送 チューナー等
TUNER	RECEIVER/ TUNER	AMFM チューナー
CD	CD/CD-R PLAYER	CDプレーヤー
CD-R	CD/CD-R PLAYER	CDレコーダー等
MD	CD/CD-R PLAYER	MDデッキ
TAPE	TAPE DECK	カセットデッキ
AUX1	CABLE	ケーブルテレビ等
AUX2	LASER DISC	レーザーディスクプレーヤー
AMP	AMPLIFIER	アンプ・レシーバー等
	RECEIVER/ TUNER	

■ マランツ製品をご使用の場合、お客様の使用状態に合わせてTVとDVDはそれぞれTV1 (TV/VDP：プロジェクター)、TV2 (PDP：プラズマディスプレイ)、DVD1 (1台目のDVDプレーヤー)、DVD2 (2台目のDVDプレーヤー)の設定ができます。設定はプリセットモードで行います。

工場出荷状態はそれぞれTV1、DVD1に設定されています。プリセットの仕方は以下の「メーカー番号を直接入力して設定する」の項を参照し以下の番号を入力してください。

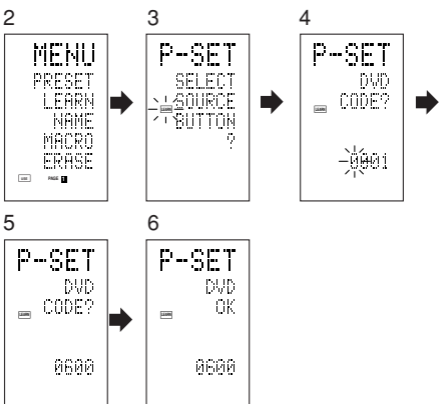
TV1：0001、TV2：0002

DVD1：0001、DVD2：0002

メーカー番号を直接入力して設定する

メーカー番号一覧表をご覧ください。

例としてSAMSUNGのDVDプレーヤーを設定する。



1 付属のメーカー番号一覧表を見て、操作するメーカーの番号を探します。

2 Mボタン④を3秒以上押します。

メニュー表示になります。

3 ダイレクトボタン⑤のD1 (PRESET) ボタンを押します。

プリセット設定(P-SET)表示になります。

4 ソースボタン⑭のDVDを押します。

5 数字ボタン⑪を押して4桁のメーカー番号を入力します。

例：メーカー番号一覧表から0600と入力する。

入力した番号を修正する場合はカーソルボタンの◀か▶を押し、正しい番号を入力します。

・ 設定操作の途中で1分以上ボタンが押されなかった場合、その時点で入力途中の設定が解除されます。

6 カーソルボタン⑳のOKを押します。

7 OKが表示され、プリセット設定(P-SET)表示に戻ることを確認します。

メーカー番号が正しく設定されると、表示部にOKが表示されます。

・ メーカー番号一覧にない番号を入力した場合は、表示部にWRONG CODEが表示された後に、プリセット設定表示に戻ります。

メーカー番号一覧を確認して別の番号を設定するか、シーケンス機能を使って設定します。

8 続けて他のソース機器のメーカー番号を設定するには、4～6の操作を繰り返します。

- 9 設定が終わるときには、Mボタン④を押します。
- 10 本機のボタンを押しDVDの操作が正しくできる事を確認してください。

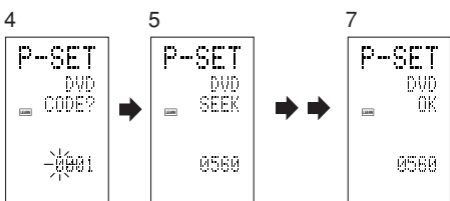
メーカー番号一覧表にない機器を設定する

メーカー番号一覧表にない機器については、シーケンス機能を使って設定できます。シーケンス機能を使っても、一部の機器では設定できない場合があります。このような場合は個別にコードを学習させて使用してください。

シーケンス機能では、本機のボタンを順に押し続けていくことで電源ON・OFFのコードが送信されます。

相手側の機器の電源をONにしておき、OFFになったところでボタンを押すのをやめれば設定が完了します。

例としてDVDプレーヤーを設定する。



- 1 相手側のDVDプレーヤーの電源をONにします。
- 2 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 3 ダイレクトボタン⑤のD1(PRESET)ボタンを押します。
プリセット設定(P-SET)表示になります。
- 4 ソースボタン⑭のDVDを押します。
- 5 CH+ボタンまたはCH-ボタン⑲を1秒以上押します。
- 6 CH+ボタンを約1秒間隔で押します。
信号が送信され、表示部のコード番号表示が順次変わります。
CH-ボタンを押すと、番号表示が戻ります。
- 7 相手側のDVDプレーヤーの電源がOFFになったら押すのを止めます。
- 8 カーソルボタン⑳のOKを押します。
- 9 OKが表示され、プリセット設定(P-SET)表示に戻ることを確認します。
- 10 続けて他のソース機器のメーカー番号を設定するには、4～8の操作を繰り返します。
- 11 設定が終わるときには、Mボタン④を押します。

- 12 本機のボタンを押しDVDの操作が正しく
できる事を確認してください。

設定した機器がうまく動作しない時は、次の事
を確認してください。

- ・メーカー番号一覧表に複数の番号がある場合
は、別の番号を設定してみてください。
- ・全てのボタンが使用できない場合があります。
必要なボタンにコードを学習させてくだ
さい。

LEARNモード

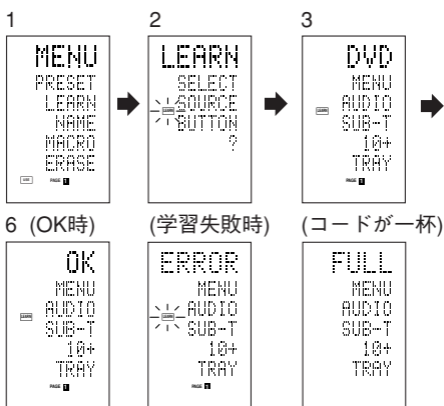
▶(PLAY)などのコントロールボタンや数字 ボタンなどへの学習

本機は、お手持ちのリモコンのコードを学習・
記憶させることができます。

学習しなかった部分は初期設定のマランツのプ
リセットコードか、お客様が設定した他社製の
AV機器のリモコンコードが送信されます。

リモコン信号の受光部は頭部にあります。

DVDプレーヤー用のリモコンの学習を例にします。



- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 2 ダイレクトボタン⑤のD2(LEARN)ボタン
を押します。
LEARN設定(LEARN)表示になります。また、
LEARNが点滅します。
- 3 ソースボタン⑭のDVDを押します。
- 4 ▶(PLAY)⑬を押します。
LEARNが点滅から点灯に変わり学習が可能な状態
になります。
- 5 本機の受光部(頭部)とDVDリモコンの送
信部(頭部)を約5cm離してまっすぐに置き
ます。

- 6 送り側DVDリモコンの▶(PLAY)ボタンを押し続け、表示部にOKが出ることを確認します。

OKの表示が出たら学習が完了です。

表示部に ERRORが出た場合は、何らかの原因で学習ができなかったときです。もう一度4～5の操作を行って下さい。

学習時、まれに表示部に ERROR が何度も表示される場合があります。このときは、送り側のリモコン信号コードが特殊であることが考えられます。このようなリモコンコードは、本機では学習できません。

- 7 同様にして他のボタンも学習させて下さい。
8 TVやCDなどの他の機器を学習させる場合は3～6の操作を行ってください。

- ・ 学習操作中ボタンが押されずに放置されたときは、約1分でUSEモードに戻ります。
- ・ ソースボタンに学習させる場合は、3の操作でソースを切り替えた後、もう一度そのソースボタンを押します。

- 9 各ボタンにコードを学習させ終わったら、Mボタン④を押します。

表示部に **USE** が点灯し、新しく記憶させたコードの送信ができます。

- ・ 表示部にFULLの表示がされた場合、LEARNモードで学習したコードが一杯になって入り切らないときです。

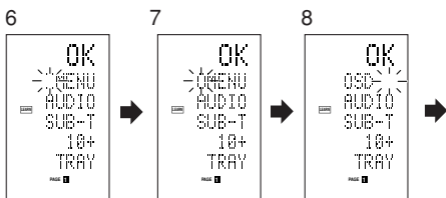
何度学習操作を行ってもFULLが表示されるときは、学習したコードを消去しないと新しく学習させることはできません。学習済みのボタンをソースごとに消去してください。

Mボタン④、>ボタン⑥は、学習できません。

LIGHTボタン1、2 ⑮はソースに関わらず、各1コードのみ学習できます。

ダイレクトボタンへの学習と名前の書き換え

例として、DVDのMENUボタン(D1)に他社製品のコードを学習させ、表示をOSDに変更する場合で説明します。



- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。

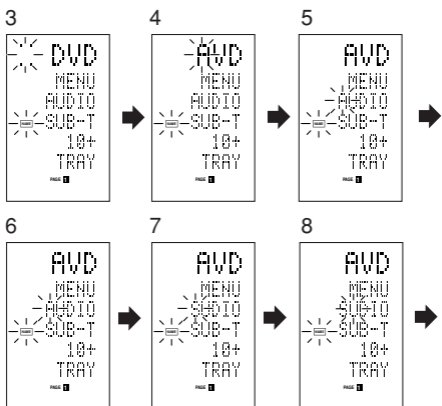
- 2 **ダイレクトボタン⑤のD2(LEARN)ボタンを押します。**
LEARN設定(LEARN)表示になります。また、**LEARN**が点滅します。
- 3 **ソースボタン⑭のDVDを押します。**
ダイレクトボタン表示の1ページ目が表示されます。ページは4ページ分あり、>ボタンを押すごとにページが、1→2→3→4→1と切り替わります。
- 4 **ダイレクトボタン⑤のD1(MENU)ボタンを押します。**
LEARNが点滅から点灯に変わり、学習が可能な状態になります。
- 5 **本機の受光部(頭部)とDVDリモコンの送信部(頭部)を約5cm離してまっすぐに置きます。**
- 6 **送り側DVDリモコンのOSDボタンを押し続け、表示部にOKがでることを確認します。**
OK表示が出たら学習が完了です。
表示部にERRORが出た場合は、何らかの原因で学習ができなかったときです。もう一度4～5の操作を行って下さい。
 - ・ 学習が完了すると自動的に名前の変更モードになります。MENUの左端に「::」表示が点滅し、点滅部分の書き換えができるようになります。
 - ・ 書き換えをしない時には、カーソルボタンのOKボタンを押します。OKボタンを押すと学習の待機状態に戻ります。
- 7 **名前の書き換えをする場合は、数字ボタン⑪を押して文字を入力してください。**
 - ・ 書き換えをする表示部分は、カーソルボタンの◀▶で移動できます。
 - ・ MENUをOSDに変更するので、数字ボタンの5を押します。
M→N→O→5→Mのようにボタンを押す毎に表示が変化します。
- 8 **文字の書き換えが完了したらカーソルボタン⑳のOKボタンを押します。**
既にある文字を消すときには、0ボタンを押して、スペースを入れて下さい。
 - ・ ここでは、「MENU」から、「O S D (スペース) (スペース)」と入力します。OKボタンが押されると、「OSD」が右側に表示されません。詳しくは次の「名前の書き換え」項を参照してください。
- 9 **同様にして>ボタン⑥でページを選び、ダイレクトボタン⑤を押して学習させてください。**

- 10 各ボタンにコードを学習させ終わったら、Mボタン④を押します。
表示部に「USE」が点灯し新しく記憶させたコードの送信ができます。

名前の書き換え

このリモコンでは、ソース名やダイレクトボタン部の名前を書き換える事ができます。この操作はソース毎に行います。

例としてソース表示のDVDをAVDに、AUDIOをSOUNDに変更します。



- Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- ダイレクトボタン⑤のD3(NAME)ボタンを押します。
- ソースボタン⑭のDVDを押します。
「NAME」が点滅します。
左端に「::」表示が点滅し、書き換えができるようになります。
- カーソルボタン⑳の▶を2度押します。
「D」が点滅し、書き換えができるようになります。
- 数字ボタン⑪の1を押しAを選びます。
数字ボタンは、次のようにボタンを押す毎に変化します。
1 : A→B→C→1→A
2 : D→E→F→2→D
3 : G→H→I→3→G
4 : J→K→L→4→J
5 : M→N→O→5→M
6 : P→Q→R→6→P
7 : S→T→U→7→S
8 : V→W→X→8→V
9 : Y→Z→/→9→Y
0 : スペース(:)→+→-→、→'→<→>→?
→0→スペース(:)

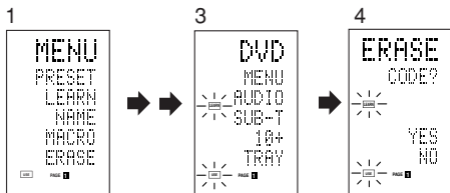
- 6 カーソルボタン⑳の◀か▶を押します。
Aの文字に書き換えできました。
・カーソルボタンの▲か▼を押すことで、書き換える場所の点滅表示を移動できます。
- 7 カーソルボタン⑳の▲か▼を押してダイレクト表示部のAUDIOを選ぶとAが点滅表示となり、名前の書き換えが可能な状態になります。
- 8 数字ボタン⑪の7を押しSを選びます。
ボタンを押す毎に、S→T→U→7→Sのように表示が変化します。
- 9 カーソルボタン⑳の▶を押し点滅部分を移動します。
- 10 数字ボタン⑪の5を押しOを選びます。
- 11 同様にしてU、N、Dと入力します。
- 12 文字の書き換えが完了したらカーソルボタン⑳のOKボタンを押します。
- 13 Mボタン④を押します。
表示部に「USE」が点灯し、新しく記憶させた名前での操作ができるようになります。
入力は上書きになるので現在表示されている文字は消去されます。
ダイレクト表示部は6文字まで入力できます。

学習したコードの消去(初期状態に戻す)

消去は、次の5つの方法があります。
ボタン毎の消去、ダイレクトボタン部の消去、ダイレクトボタン部ページ毎の消去、ソース毎の消去、全消去。

ボタン毎の消去とダイレクトボタン部の消去
例としてDVDプレーヤーに学習済のPLAYボタンのコード、AMPのダイレクトボタン部AUTOのコードを消去します。

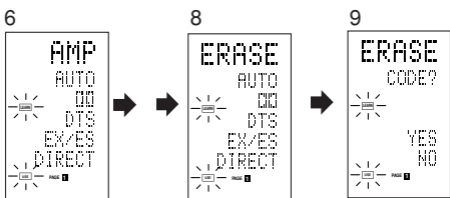
ボタン毎の消去



- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 2 ダイレクトボタン⑤のD5(ERASE)ボタンを押します。
- 3 ソースボタン⑭のDVDを押します。
「USE」と「LEARN」が点滅します。

- 4 CLEARボタン⑬を押しながら、消去したいボタン(▶: PLAY)を押します。
表示部にメッセージが出ます。
 - 5 ダイレクトボタン⑤のD4 (YES) を押し、消去します。
(▶: PLAY) ボタンに学習したコードが消去されます。
消去されると、そのボタンは工場出荷状態に戻ります。
・ 消去をやめるときはD5 (NO) を押し、前の画面に戻ります。
- CLEARボタンの消去は、CLEARボタンだけを2回押します。
SOURCEボタンの消去は、SOURCEボタンだけを2回押します。

ダイレクトボタン部の消去

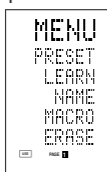


- 6 ソースボタン⑭のAMPを押します。
- 7 >ボタン⑥を押して、AMPの1 ページ目を表示させます。
- 8 CLEARボタン⑬を押しながら、消去したいダイレクトボタン⑤ のD 1 ボタン (AUTO) を押します。
- 9 ダイレクトボタン⑤のD4 (YES) を押し、消去します。
AUTOボタンのコードが消去されます。
消去されると、そのボタンは工場出荷状態に戻ります。書き換えした名前も元の名前に戻ります。
・ 消去をやめるときは、D5 (NO) を押し、前の画面に戻ります。
- 10 消去の操作を終了するときには、Mボタン④を押します。
USE が点灯し、操作ができるようになります。

ダイレクトボタン部ページ毎の消去

例としてDVDプレーヤに学習済のダイレクトボタン部2ページ目の全てを消去します。

1



3



4



5

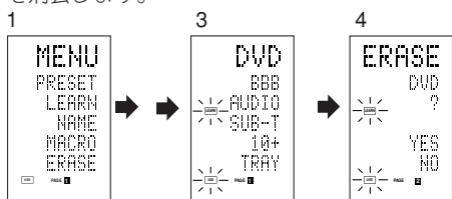


- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 2 ダイレクトボタン⑤のD5(ERASE)ボタンを押します。
- 3 ソースボタン⑭のDVDを押します。
[USE]と[LEARN]が点滅します。
- 4 >ボタン⑥を押して、2ページ目を出します。
- 5 CLEARボタン⑯を押しながら、>ボタン⑥を押します。
- 6 ダイレクトボタン⑤のD4(YES)を押し、消去します。
PAGE2に学習した全てのコードと名前が消去されます。消去されると、工場出荷状態に戻ります。書き換えした名前も元の名前に戻ります。
・消去をやめるときは、D5(NO)を押すと、前の画面に戻ります。
- 7 消去の操作を終了するときには、Mボタン④を押します。
[USE]が点灯し、操作ができるようになります。

ソース毎の消去

DVD、TVなどのソース毎に学習されている全てのコードと名前を消去します。ダイレクトボタン部の4ページの全てのコードと名前も消去されます。

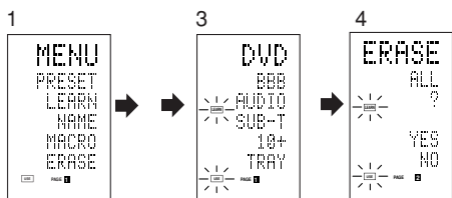
例としてDVDプレーヤに学習済のコードと名前を消去します。



- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 2 ダイレクトボタン⑤のD5(ERASE)ボタンを押します。
- 3 ソースボタン⑭のDVDを押します。
USEとLEARNが点滅します。
- 4 CLEARボタン⑯を押しながら、ソースボタン⑭のDVDを押します。
- 5 ダイレクトボタン⑤のD4(YES)を押し、消去します。
DVDソースに学習した全てのコードと名前が消去されます。消去されると、工場出荷状態に戻ります。書き換えした名前も元の名前に戻ります。
・消去をやめるときは、D5(NO)を押すと、前の画面に戻ります。
- 7 消去の操作を終了するときには、Mボタン④を押します。
USEが点灯し、操作ができるようになります。

全消去

学習した全てのコードと名前を消去(リセット)します。消去後は工場出荷状態に戻ります。プログラムしたマクロも消去されます。



- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。

- 2 ダイレクトボタン⑤のD5(ERASE)ボタンを押します。
[USE]表示と[LEARN]が点滅します。
- 3 POWERボタン②のONとOFFを同時に押しながら、CLEARボタンを⑩押します。
- 4 ダイレクトボタン⑤のD4(YES)を押し、消去します。
学習した全てのコードと名前が消去され、工場出荷状態に戻ります。
 - ・ 消去をやめるときはD5(NO)を押すと一つ前の画面に戻ります。
 - ・ 全消去は、D4(YES)ボタンを押してから数秒かかります。

マクロのプログラム

本機では一連の連続したボタン操作をプログラムすることができます。

マクロとは複数のボタン操作を1回で連続的に行うための機能で、1つのボタンに最大20通りの操作を学習できます。

マクロのプログラムができるボタンは計20個あります。

- ・例えば次のように連続動作させることができます。

アンプをDVDソースに切り替える→アンプのモードをAUTOにする→DVDプレーヤをプレイにする→TVをビデオ入力に切り替える。

マクロの送信動作の間隔(時間)は工場出荷状態では、1秒に設定されています。セットアップモードでは全体の信号送信間隔を約0.5秒から5秒の間隔で設定できます。マクロのプログラム中や修正中では各々の送信間隔が個別に調整できます。

■注意：

後述のセットアップモードで信号の送信間隔(インターバルタイム)を変更した場合は、全てのマクロプログラムでこの送信間隔が適用されます。個々の信号送信間隔を変更する場合は、本章のマクロのプログラムやプログラムの修正で設定してください。

- ・マクロのプログラム中は信号は送信されません。
- ・Mボタン④、>ボタン⑥、カーソル⑳、MEMOボタン⑫、CLEARボタン⑯、VOLボタン⑦はプログラムできません。
- ・プログラム中ボタンが押されずに放置されたときは、約1分でマクロモードの前の状態に戻ります。

この時のマクロのプログラムは記憶されません。

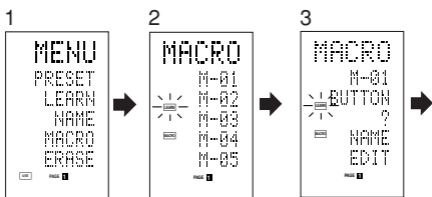
- ・マクロモードを実行する場合、ソース切り替え操作の2回目以降からは、リモコンのモードが変わるだけで、信号は送信されません。(アンプのソースセレクトの切り替えは1回だけ有効になります)

マクロプログラム

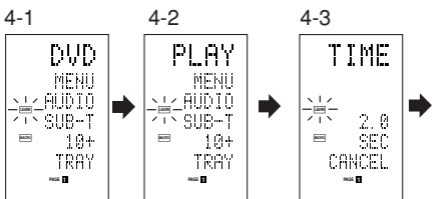
例としてM-01ボタンに以下をプログラムします。

(例に示した表示は工場出荷状態のものであり、ダイレクト表示部の名前を書き換えた場合は書き換えた名前が表示されます。)

アンプを DVDソースに切り替える→DVDプレーヤをプレイにする→次の信号送信までの間隔を2秒に設定する→TVをビデオ入力に切り替える→アンプのモードをAUTOにする



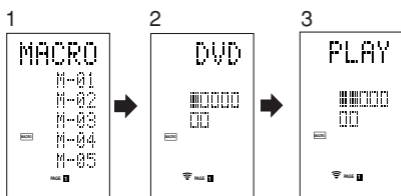
- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 2 ダイレクトボタン⑤のD4(MACRO)ボタンを押します。
マクロメニュー表示になります。
MACROが点灯し、LEARNが点滅します。
- 3 ダイレクトボタン⑤のD1(M-01)ボタンを押します。
メニューは4ページ分あるので他のボタンにプログラムするときには>ボタンで選びます。
- 4 操作したい順にボタンを押します。
ここから実際のプログラムを始めます。
ボタンを押すたびに押したボタンの名前が表示部に表示されます。



- 4-1 ソースボタン⑭のDVDを押します。
- 4-2 ▶(PLAY)ボタン⑬を押します。
- 4-3 カーソルボタン⑳の▲か▼を押します。
表示部にインターバルタイムが表示されます。
- 4-4 カーソルボタン⑳の▲か▼を押して2.0(秒)にします。
 - ・カーソルボタンの▲で時間が増加し、▼で減少します。インターバルタイムは0.5秒から5秒までの間で設定できます。
 - ・時間調整をやめるときは、ダイレクトボタンのD5(CANCEL)ボタンを押します。

- 4-5 カーソルボタン⑳のOKを押します。
- 4-6 ソースボタン⑭のTVを押します。
- 4-7 >ボタン⑥を押し1ページ目を出します。
- 4-8 ダイレクトボタン⑤のD1 (INPUT) ボタンを押します。
- 4-9 ソースボタン⑭のAMPを押します。
- 4-10 >ボタン⑥を押し1ページ目を出します。
- 4-11 ダイレクトボタン⑤のD1 (AUTO) ボタンを押します。
- 4-12 カーソルボタン⑳のOKを押します。
表示部にENDが表示されプログラムが終了します。
- 5 続けて別のプログラムを行う場合は3～4-12の操作を繰り返します。
- 6 マクロプログラムの操作を終了するときは、Mボタン④を押します。
USEが点灯し、操作ができるようになります。
20通り以上をプログラムした場合は、マクロメニューに戻ります。20通り以下になるようにプログラムの修正をしてください。

マクロプログラムの実行



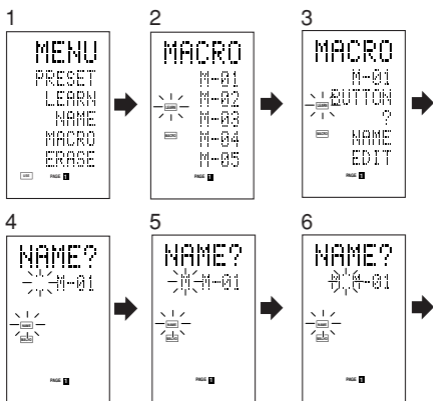
- Mボタン④を短く押します。
マクロメニュー表示になります。
 - ダイレクトボタン⑤のD1 (M-01) ボタンを押します。
 - プログラムが順次送信されることを確認します。
表示部には操作ボタンの名前が順に表示されます。
・プログラムされている部分は、□で表示されます。プログラムの進行に従ってパー表示が動いていきます。
- DVDソース選択→PLAY送信→インターバルタイム2秒→TVを選択→TV INPUT送信→AMPを選択→AUTO送信→終了
- ・プログラムの送信を途中で中止するときは、どれかのボタンを押します。

マクロプログラムの名前変更

工場出荷状態ではマクロプログラムの名前はM-01からM-20で設定されていますが、それぞれ好きな名前に変更できます。

文字は6文字分で、数字ボタンを使って入力します。

例としてM-01の名前をMOVIEに変更します。



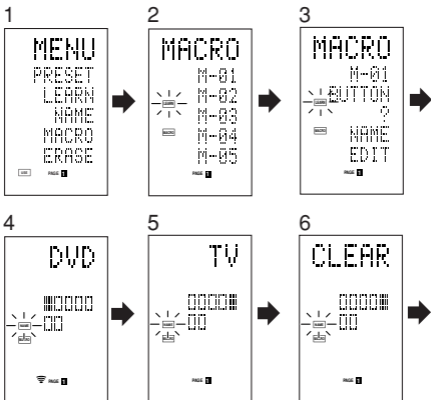
- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 2 ダイレクトボタン⑤のD4(MACRO)ボタンを押します。
マクロメニュー表示になります。
MACROが点灯し、LEARNが点滅します。
- 3 ダイレクトボタン⑤のD1(M-01)ボタンを押します。
RENAME(名前変更)表示になります。
- 4 ダイレクトボタン⑤のD4(RENAME)ボタンを押します。
左端に「::」表示が点滅し、書き換えができるようになります。
- 5 数字ボタン⑪の5を押しMを選びます。
- 6 カーソルボタン▶⑳を押し、点滅個所を次に移動します。
- 7 数字ボタン⑪の5を押しOを選びます。
- 8 6、7の操作を繰り返し、V、I、E、「::」を入力します。
 - ・入力している途中で文字を変更する場合はカーソルボタンの◀か▶を押し、点滅個所を移動します。
- 9 完了後はカーソルボタン⑳のOKを押します。
 - ・別のマクロプログラムの名前を変更する時には、3～9の操作を繰り返します。
- 10 終了するときは、Mボタン④を押します。

マクロプログラムのステップを削除する

例としてM-01にプログラムされている以下のプログラムからTV、INPUTのステップを削除します。

DVD→PLAY→TIME→TV→INPUT→AMP
→AUTO のプログラムを

DVD→PLAY→TIME→AMP→AUTO にします。

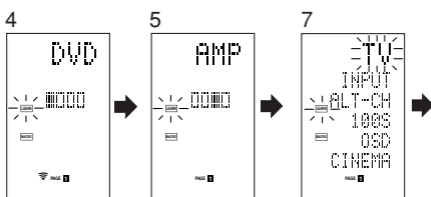


- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 2 ダイレクトボタン⑤のD4(MACRO)ボタンを押します。
マクロメニュー表示になります。
MACROが点灯し、LEARNが点滅します。
- 3 ダイレクトボタン⑤のD1(M-01)ボタンを押します。
- 4 ダイレクトボタン⑤のD5(EDIT)ボタンを押します。
表示部にDVDが表示され、ステップの位置が■で表示されます。
プログラムされている部分は□で表示されます。
- 5 カーソルボタン⑳の▶を押し、TVを表示させます。
- 6 CLEARボタン⑯を押します。
表示部にCLEARが表示され、TV、INPUTが削除されます。
マクロプログラムのステップ削除では、ソース切り替え後そのソースの各操作も削除されます。
INPUTの位置でCLEARボタンを押した場合は、INPUTのステップだけが削除されます。
ステップの□表示も同時に変化します。
・ 変更したステップを確認するときにはカーソルボタンの◀か▶を押します。

- 7 終了するときは、Mボタン④を押します。
完了後、別のマクロプログラムを変更する時には、カーソルボタンのOKを押しメニューに戻り、3~6の操作を繰り返します。

マクロプログラムのステップを上書追加

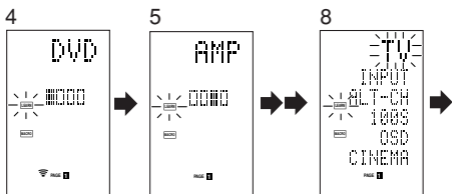
例としてM-01にプログラムされているDVD→PLAY→AMP→AUTOのプログラムをDVD→PLAY→TV→INPUTにします。



- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 2 ダイレクトボタン⑤のD4(MACRO)ボタンを押します。
マクロメニュー表示になります。
MACROが点灯し、LEARNが点滅します。
- 3 ダイレクトボタン⑤のD1(M-01)ボタンを押します。
- 4 ダイレクトボタン⑤のD5(EDIT)ボタンを押します。
表示部にDVDが表示され、ステップの位置が■で表示されます。
プログラムされている部分は□で表示されます。
- 5 カーソルボタン⑳の▶を押し、AMPを表示させます。
- 6 ソースボタン⑭のTVを押します。
TVが0.5秒間点滅します。
- 7 ダイレクトボタン⑤のD1(INPUT)ボタンを押します。
INPUTが0.5秒間点滅します。
TVとINPUTが上書きされます。
変更したステップを確認するときには、カーソルボタンの◀か▶を押します。
- 8 終了するときは、Mボタン④を押します。
完了後、別のマクロプログラムを変更する時には、カーソルボタンのOKを押しメニューに戻り、3~7の操作を繰り返します。

マクロプログラムのステップを挿入

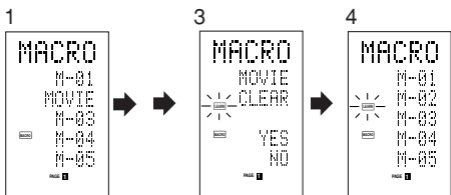
例としてM-01にプログラムされているDVD→PLAY→AMP→AUTOのプログラムをDVD→PLAY→TV→INPUT→AMP→AUTOにします。



- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 2 ダイレクトボタン⑤のD4(MACRO)ボタンを押します。
マクロメニュー表示になります。
MACROが点灯し、LEARNが点滅します。
- 3 ダイレクトボタン⑤のD1(M-01)ボタンを押します。
- 4 ダイレクトボタン⑤のD5(EDIT)ボタンを押します。
表示部にDVDが表示し、ステップの位置が■で表示されます。
プログラムされている部分は□で表示されます。
- 5 カーソルボタン⑳の▶を押し、AMPを表示させます。
- 6 MEMOボタン⑫を押します。
- 7 ソースボタン⑭のTVを押します。
TVが0.5秒間点滅します。
- 8 ダイレクトボタン⑤のD1(INPUT)ボタンを押します。
INPUTが0.5秒間点滅します。
- 9 カーソルボタン⑳のOKを押します。
TVとINPUTが挿入されます。
変更したステップを確認するときには、カーソルボタンの◀か▶を押します。
- 10 終了するときには、Mボタン④を押します。
完了後、別のマクロプログラムを変更する時には、カーソルボタンのOKを押しメニューに戻り、3～9の操作を繰り返します。

マクロプログラムを消去

消去した場合は、そのボタンにプログラムされていたプログラムは消去されます。また、変更したマクロの名前も工場出荷状態に戻ります。例としてM-02にプログラムされているMOVIEの名前のマクロを消去します。



- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
マクロメニュー表示になります。
- 2 ダイレクトボタン⑤のD4(MACRO)ボタンを押します。
マクロメニュー表示になります。
- 3 CLEARボタン⑯を押しながら、ダイレクトボタン⑤のD2(MOVIE)ボタンを押します。
- 4 ダイレクトボタン⑤のD4(YES)ボタンを押し、消去します。
・消去をやめるときはNO(D5ボタン)を押す。
- 5 終了するときには、Mボタン④を押します。
完了後、別のマクロプログラムを変更する時には、カーソルボタンのOKを押しメニューに戻り、2～4の操作を繰り返します。

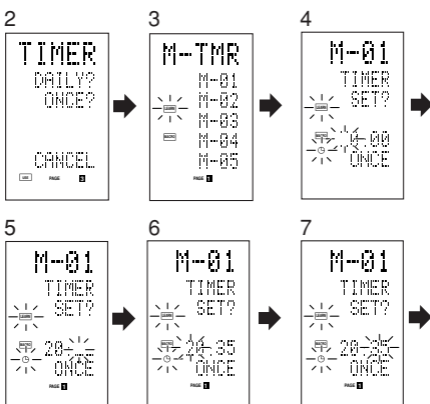
マクロタイマーの設定をする

タイマーの設定をすることにより、マクロプログラムで機器の電源ON/OFFなどが自動的にできます。

設定ではマクロタイマーを1回だけ実行するか、毎日実行するかを選べます。

はじめる前に、あらかじめ時計を設定しておいてください。マクロタイマーは1日1プログラムだけ設定できます。

例として、M-01にプログラムしたマクロをタイマーを使って20：35分に1回だけ実行します。



- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 2 >ボタン⑥を押し、3ページ目のTIMERのメニューにします。
- 3 ダイレクトボタン⑤のD2(ONCE?)ボタンを押します。
表示部にM-TMRのメニューが表示されます。
・タイマー設定をやめるときはCANCELを押し。
- 4 ダイレクトボタン⑤のD1(M-01)ボタンを押します。
表示部には、前回設定した時刻が表示されます。
- 5 数字ボタン⑪の2と0を押し、時刻表示を20にします。
- 6 数字ボタン⑪の3と5を押し、分表示を35にします。
- 7 カーソルボタン⑳のOKを押します。
時刻が確定します。
- 8 終了するときには、Mボタン④を押します。
マクロタイマーをキャンセルするときには、TIMERのメニューに戻してから、ダイレクトボタンのCANCEL(D5)を押し、さらにD1(M-01)を押します。

マクロタイマーの実行

設定した時間がくるとマクロタイマーがスタートします。

マクロタイマーが有効になっている時は、TIMER表示Ⓒが点灯しています。

■注意：

マクロタイマーを実行する時は、操作する機器の赤外線受光部に向けてリモコンを置いてください。位置が不完全な場合は、正常に操作出来ないことがあります。

クローンモード

クローンモードでコピー品を作る

簡単な操作で、別のRC1400へ全ての学習をさせたコードをコピーできます。

- ・リモコンの内容全体のコピーとソースボタン毎のコピーができます。
- ・全体のコピーは学習させた全てのコード、変更した名前、プログラムしたマクロ、信号の送信間隔をコピーします。

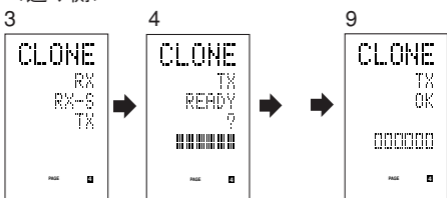
ソースボタン毎のコピーでは学習させたコード、変更した名前がコピーできます。

■注意：

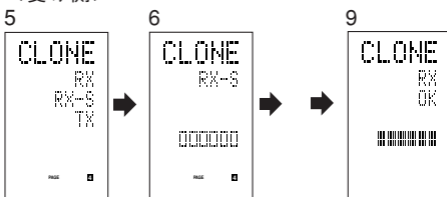
クローン機能を使うときは、送り側・受け側で同じリモコン(RC1400)でない場合にはコピーできません。

全体をコピーする

<送り側>



<受け側>



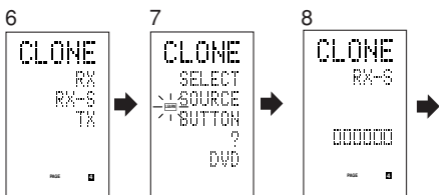
- 1 受け側リモコンの受光部(頭部)と送り側リモコンの送信部(頭部)を約5cm離してまっすぐに置きます。
- 2 送り側リモコンのMボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 3 >ボタン⑥を押し、4ページ目のCLONEのメニューにします。
- 4 ダイレクトボタン⑤のD3(TX)ボタンを押します。
これで送り側の準備ができました。
- 5 受け側リモコンのMボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。

- 6 >ボタン⑥を押し、4ページ目のCLONEのメニューにします。
- 7 ダイレクトボタン⑤のD1(RX)ボタンを押します。
これで受け側の準備ができました。
- 8 受け側リモコンのカーソルボタン⑳のOKを押します。
- 9 送り側リモコンのカーソルボタン⑳のOKを押します。
コピーが始まると両方の表示部のバー表示が左から右に動き始めます。
 - ・ 送り側の表示がTX OKになり、受け側の表示がRX OKになったらコピーが完了します。
 - ・ コピー動作中は、両方のリモコンには手をふれないで下さい。コピー失敗の原因になります。
 - ・ コピーが途中で失敗したときは受け側にRX ERRORが表示されます。1～7の操作を確認して再度行って下さい。
 - ・ コピーの時間は、送り側の学習容量が100%の時に約3分程度かかります。
- 10 コピーが完了したら、両リモコンのMボタン④を押します。

ソース毎にコピーする

12種類あるソースをコピーできます。最大12種類のソースを選択できます。

<受け側>



- 1 受け側リモコンの受光部(頭部)と送り側リモコンの送信部(頭部)を約5cm離してまっすぐに置きます。
- 2 送り側リモコンのMボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 3 >ボタン⑥を押し、4ページ目のCLONEのメニューにします。
- 4 ダイレクトボタン⑤のD3(TX)ボタンを押します。
これで送り側の準備ができました。
- 5 受け側リモコンのMボタン④を3秒以上押します。

- 6 >ボタン⑥を押し、4ページ目のCLONEのメニューにします。
- 7 ダイレクトボタン⑤のD2(RX-S)ボタンを押します。
- 8 コピーするソースボタン⑭を押します。
これで受け側の準備ができました。
表示部に押したソースの名前が表示されます。
 - ・ ソースボタンを押すたびに名前が表示部に表示されます。
- 9 受け側リモコンのカーソルボタン⑳のOKを押します。
- 10 送り側リモコンのカーソルボタン⑳のOKを押します。
コピーが始まると両方の表示部のパー表示が左から右に動き始めます。
 - ・ 送り側の表示がTX OKになり、受け側の表示がRX OKになったらコピーが完了します。
 - ・ コピー動作中は、両方のリモコンには手をふれないで下さい。コピー失敗の原因になります。
 - ・ コピーが途中で失敗したときは、ERRORが表示されます。
1～7の操作を確認して再度行って下さい。
- 11 コピーが完了したら、両リモコンのMボタン④を押します。

セットアップ

ライティング時間の設定

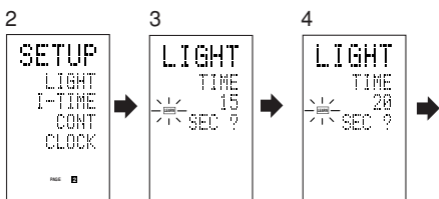
- ・ LIGHTボタン⑮を押すと表示部が照光します。ボタンを押している間は照光し、離すと消えます。
- ・ 照光している間や照光が終了した後、2秒以内に他のボタンを押すと照光が継続します。
- ・ 照光時間は、0～60秒まで1秒間隔にて設定できます。

LIGHTボタンには光を蓄える性質を持った蓄光ボタンを採用しています。周囲が暗くなったときにボタンが光らなくなったら、蛍光灯スタンド等で光を十分に当てて下さい。再び良く光るようになります。

- ・ LIGHTボタンはLIGHT1とLIGHT2の2つのボタンがあり、どちらも同じ動作をします。

工場出荷状態の照光時間は15秒に設定されています。

例として照光時間を20秒に設定します。



- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 2 >ボタン⑥を押し、2ページ目のSETUPのメニューにします。
- 3 ダイレクトボタン⑤のD1 (LIGHT) ボタンを押します。
LIGHT表示になります。
- 4 カーソルボタン⑳の▲か▼を押して照光の時間を設定します。
- 5 カーソルボタン⑳のOKを押し、設定した時間を決定します。
- 6 終了するときには、Mボタン④を押します。

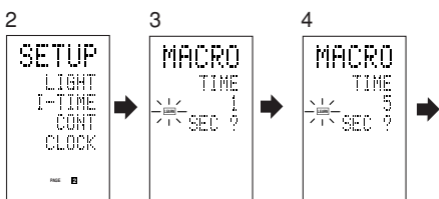
マクロのインターバルタイムを設定

マクロプログラムを実行するとき、コントロールのための信号が順次送信されます。この送信間隔(インターバルタイム)は、0.5秒から5秒まで0.5秒間隔にて設定できます。

このセットアップモードでインターバルタイムの設定をした場合は、全てのプログラム済のマクロインターバルタイムが変更されます。必要な場合はマクロプログラムのEDIT(参照31ページ)で個々に変更を行ってください。

工場出荷状態は1秒に設定されています。

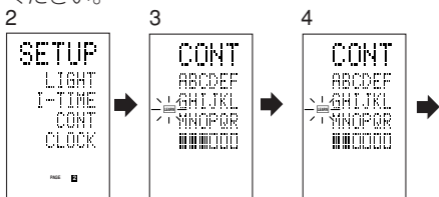
例としてインターバルタイムを5秒に設定します。



- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。
- 2 >ボタン⑥を押し、2ページ目のSETUPのメニューにします。
- 3 ダイレクトボタン⑤のD2(I-TIME)ボタンを押します。
- 4 カーソルボタン⑳の▲か▼押してインターバルタイムを設定します。
- 5 カーソルボタン⑳のOKを押し、設定したインターバルタイムを決定します。
- 6 終了するとき、Mボタン④を押します。

表示部のコントラストを調整

表示部のコントラストが調整できます。周囲の環境に合わせて、見やすくなるように調整してください。

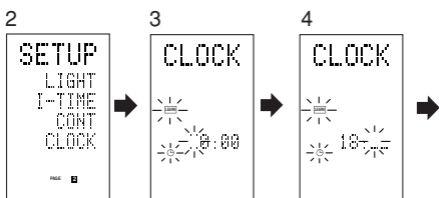


- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
メニュー表示になります。

- 2 >ボタン⑥を押し、2ページ目のSETUPのメニューにします。
- 3 ダイレクトボタン⑤のD3(CONT)ボタンを押します。
- 4 カーソルボタン⑳の▲か▼を押し表示の濃さが見やすくなるように設定します。
調整は10段階あります。
工場出荷状態は5段階目に設定されています。
- 5 カーソルボタン⑳のOKを押し、設定した表示の濃さを決定します。
- 6 終了するときには、Mボタン④を押します。

時計の合わせかた

(例)午後6時20分(18時20分)に合わせる場合



本品をご購入後、始めて電池を入れる場合は、手順の4の操作より始まります。手順の1～3は、省略されます。

- 1 Mボタン④を3秒以上押します。
MENUが表示されます。
- 2 >ボタン⑥を1回押します。
ページ2(SETUP)にします。
- 3 ダイレクトボタン⑤のD4ボタン(CLOCK)を押します。
「時」表示部の「:」が点滅します。
- 4 数字ボタン⑪の1と8を押します。
「時」表示部に18が表示されます。
「分」表示部の「_」が点滅します。
- 5 数字ボタン⑪の2と0を押します。
「分」表示部に20が表示されます。
「時」表示部が点滅します。
- 6 カーソルボタン⑳のOKを押し、時計をスタートさせます。
時計は、設定した時刻の0秒からスタートし、MENU表示に戻ります。
通常(USE)モードに戻るときには、Mボタンを押します。

その他

電池の寿命について

アルカリ乾電池使用の場合は約4ヶ月間は使用できます。電池の寿命は使用頻度やリモコンの設定によって変化します。

時計はバックアップされません。電池交換を行った後は、再度設定をしておいてください。(参照40ページ)

■注意：

付属されている電池は動作確認用のため、上記の期間まで使用できません。

学習可能コード

学習可能コード数について

本機は512Kバイトの大容量不揮発性メモリ(EEPROM)を搭載しているため、最大674コードのリモコン信号を学習可能です。

これはマランツのリモコンコードの場合です。学習するリモコン信号の種類によっては、コード数が、674以下になる場合があります。

学習可能コードについて

使用機種によって、コードの種類や方式などの違いにより学習できない場合があります。

仕様

方式 赤外線方式プログラマブルリモートコントロール
学習及び送信可能赤外線

キャリア周波数幅 14~70KHz

送信赤外線波長幅 950+/-45nm

最大プログラム可能コード数 674

電源 単4形乾電池3本

外形寸法 224x59 x 32mm
(高さ x 幅 x 奥行き)

質量(電池を含む) 175g

付属品 乾電池3本

取扱説明書

製品保証書

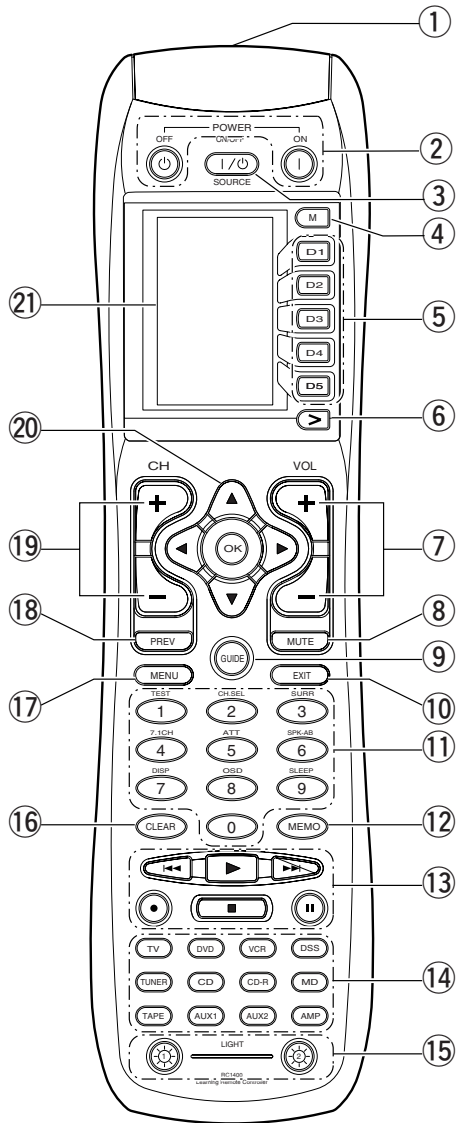
メーカー番号一覧表

ダイレクトボタン部の表示と動作

機能	コマンド	内容
AMP PAGE 1	1 AUTO 2 <input type="checkbox"/> 3 DTS 4 EX/ES 5 DIRECT	SELECT AUTO SURROUND SELECT DOLBY MODE SELECT DTS MODE SELECT EX/ES SELECT SOURCE DIRECT
PAGE 2	1 MCH-ST 2 STEREO 3 VIRTUA 4 CS-II 5 HT-EQ	SELECT MULTI CH STEREO SELECT STEREO MODE SELECT VIRTUAL MODE SELECT CS-II MODE SELECT HT-EQ
PAGE 3	1 NIGHT 2 BASS + 3 BASS - 4 TREB + 5 TREB -	NIGHT MODE ON/OFF BASS + BASS - TREBLE + TREBLE -
PAGE 4	1 MULTI 2 M-SPKR 3 A/D 4 V-OFF 5 AUDIO	MULTI ROOM ON/OFF MULTI SPKR ON/OFF SELECT ANALOG/DIGITAL VIDEO OFF BILINGUAL SELECT
TUNER PAGE 1	1 FM 2 AM 3 LW 4 T-MODE 5 BAND	SELECT FM SELECT AM SELECT LW SELECT MONO/STEREO SELECT RADIO BAND
PAGE 2	1 SCAN + 2 SCAN - 3 T-MODE 4 P-SCAN 5 P-INFO	FREQUENCY SCAN UP FREQUENCY SCAN DOWN SELECT MONO/STEREO SELECT PRESET SCAN SHOW PRESET INFO.
PAGE 3	1 DISP 2 PTY 3 AF 4 STM 5 DWR	RDS DISPLAY RDS PTY RDS ALTERNATE FREQ. RDS STATION MODE RDS DSR WAVE LANGE
PAGE 4	1 MULTI 2 M-SPKR 3 4 P-SET+ 5 P-SET-	MULTI ROOM ON/OFF MULTI SPKR ON/OFF PRESET UP PRESET DOWN
TV1 (VDP) PAGE 1	1 INPUT 2 ALT-CH 3 100S 4 OSD 5 CINEMA	SELECT VIDEO INPUT SELECT ALTERNATE CHANNEL 100S ON SCREEN DISPLAY ON/OFF CINEMA MODE
PAGE 2	1 ASPECT 2 FULL 3 NORMAL 4 PASS 5 ZOOM	SELECTS ASPECT RATIO ASPECT FULL ASPECT NORMAL ASPECT THROUGH ASPECT ZOOM
PAGE 3	1 HOLD 2 RVL 3 PAGE + 4 PAGE - 5 ENTER	ACTIVES PAGE HOLD SELECT DISPLAY OF TEXT PAGE PAGE + PAGE - ENTER THE TEXT PAGE
PAGE 4	1 C-CALL 2 SLEEP 3 MUTE 4 VOL + 5 VOL -	CHANNEL CALL ON/OFF SELECT SLEEP TIMER MUTE ON/OFF TV VOLUME + TV VOLUME -
TV2 (PDP) PAGE 1	1 INPUT 2 P IN P 3 P-SEL 4 P-MODE 5 P-SWAP	INPUT SELECT PIP ON/OFF SELECT PIP INPUT SELECT SELECT PIP POSITION SWAP
PAGE 2	1 AUTO 2 FULL 3 NORMAL 4 THROUG 5 ZOOM	ASPECT AUTO MODE ASPECT FULL ASPECT NORMAL ASPECT THROUGH ASPECT ZOOM

機 能	コマンド	内 容
PAGE 3	1 PICT 2 SURR 3 S-ZOOM 4 S-Z IN 5 S-Z OT	ENTER PICTURE SELECT MENU SURROUND ON/OFF SUPER ZOOM ON/OFF SUPER ZOOM :ZOOM IN SUPER ZOOM :ZOOM OUT
PAGE 4	1 DISP 2 SLEEP 3 4 5	DISPLAY SELECT SLEEP TIMER
CD PAGE 1	1 DISC+ 2 DISC- 3 SHUFLE 4 REPEAT 5 TRAY	CD CHANGER NEXT DISC CD CHANGER PREVIOUS DISC SHUFFLE PLAY REPEAT CD TRAY OPEN/CLOSE
PAGE 2	1 TEXT 2 AMS 3 SCROLL 4 FF 5 REW	ACTIVATE TEXT FUNCTION AUTO MUSIC SCAN SCROLL / RECALL FAST FORWARD REWIND
PAGE 3	1 DISC 1 2 DISC 2 3 DISC 3 4 DISC 4 5 DISC 5	CD CHANGER DISC 1 CD CHANGER DISC 2 CD CHANGER DISC 3 CD CHANGER DISC 4 CD CHANGER DISC 5
PAGE 4	1 UNIT 2 TITL-S 3 TRACK 4 CATGRY 5 P-MODE	SELECT UNIT No. SELECT TITLE SEARCH SELECT TRACK No. SELECT CATEGORY SELECT PLAY MODE
AUX2/LD PAGE 1	1 SIDE-A 2 SIDE-B 3 DISP 4 AUDIO 5 TRAY	SELECT DISC SIDE A SELECT DISC SIDE B DISPLAY ON/OFF SELECT AUDIO MODE LD TRAY OPEN/CLOSE
PAGE 2	1 RPT-A 2 RPT-B 3 AMS 4 FF 5 REW	REPEAT A START POINT REPEAT B START POINT AUTO MUSIC SCAN FAST FORWARD REWIND
PAGE 3	1 PBC 2 KARAOK 3 INDEX+ 4 INDEX- 5 RETURN	SELECT PLAYBACK CONTROL SWITCHES KARAOKE INDEX UP INDEX DOWN STOP OR SELECT RETURN
PAGE 4	1 CP/F 2 D/CX 3 4 5	SELECT CHAPTER/FLAME SELECT DIG/ANALOG/CX NR
TAPE PAGE 1	1 TAPE-A 2 TAPE-B 3 DIR 4 TIME 5 TRAY	SELECT TAPE DECK A SELECT TAPE DECK B AUTO REVERSE DIRECTION TIME DISPLAY TRAY OPEN/CLOSE
PAGE 2	1 AMS 2 3 4 FF 5 REW	AUTO MUSIC SCAN FAST FORWARD REWIND
VCR PAGE 1	1 TV/VCR 2 2XPLAY 3 SLOW 4 STILL 5 EJECT	SELECT TV/VCR TWICE NORMAL PLAYBACK SPEED SLOW PLAYBACK SPEED STILL FRAME EJECT
PAGE 2	1 OTR 2 AUDIO 3 SKIP 4 FF 5 REW	ONE TOUCH RECORDING SELECT AUDIO MODE SKIP TO NEXT PROG. MARKER FAST FORWARD REWIND

機能	コマンド	内容
PAGE 3	1 VIS + 2 VIS - 3 4 5	VHS INDEX SEARCH NEXT VHS INDEX SEARCH PREVIOUS
DSS PAGE 1	1 DISP 2 PREV 3 TV/VCR 4 AUDIO 5 EJECT	BRINGS UP ON SCREEN CH MARKER GOES TO PREV. SELECTED CH SELECT TV/VCR SELECT AUDIO MODE EJECT
PAGE 2	1 FAV 2 ALT 3 FTCH 4 ANT 5	FAVORITE USER & CH LISTS ALTERNATE AUDIO CH, LANGUAGES BRINGS UP ON SCREEN CH LOGOS SELECT BROADCAST OR ANTENNA
CDR PAGE 1	1 INPUT 2 INCR 3 SYNC-R 4 PROG 5 TRAY	SELECT INPUT SOURCE INCREMENTS TRACK No. ACTIVATE SYNCRO. RECORDING ACTIVATE PROGRAM MODE TRAY OPEN/CLOSE
PAGE 2	1 SCROLL 2 FINAL 3 BLANK 4 FF 5 REW	SCROLL / RECALL FINALIZES (WRITES TOC) RECORDS BLANK FAST FORWARD REWIND
PAGE 3	1 BLANK 2 REPEAT 3 4 5	RECORDS BLANK ACTIVATE REPEAT MODE
DVD1 PAGE 1 DVD2	1 MENU 2 AUDIO 3 SUB-T 4 10+ 5 TRAY	SELECTS MAIN MENU SELECT LANGUAGES SELECTS SUB TITLE DIGIT ENTRY +10 TRAY OPEN/CLOSE
PAGE 2	1 SETUP 2 ANGLE 3 OSD 4 FF 5 REW	SELECTS SETUP MENU SELECTS ANGLE ACTIVATES ON SCREEN DISP. FAST FORWARD REWIND
PAGE 3	1 SLOW 2 L-PLAY 3 SHUFLE 4 REPEAT 5 A/B	SLOW FORWARD LAST PLAY SHUFFLE PLAY REPEAT MODE REPEAT A TO B
PAGE 4	1 RETURN 2 T/C 3 3-D 4 TITLE 5 ZOOM	RETURN TO MENU TITLE AND CHAPTER SURROUND ON/OFF SELECTS TITLE MENU ZOOM MODE ON/OFF
MD PAGE 1	1 REPEAT 2 SHUFLE 3 DISP 4 EDIT 5 EJECT	SELECTS REPEAT MODE SELECTS SHUFFLE PLAY SELECTS DISPLAY MODE SELECTS EDIT MODE EJECT
PAGE 2	1 SP/LP 2 DELETE 3 ENTER 4 FF 5 REW	SELECTS SP/LP MODE SELECTS DELETE SELECTS ENTER FAST FORWARD REWIND
PAGE 3	1 MARKER 2 PROG 3 SYNC-R 4 CHAR 5	SELECTS AUTO MARKER SELECTS PROGRAM MODE SYNCRO REC SELECTS CHARACTER MODE



marantz®

お客様ご相談センター

〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2 茅場町タワー13F

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9:30-12:00 13:00-17:00

(土 日 祝日 当社休日を除く)

修理に関しましては 添付の

「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」

をご覧ください。

“Dolby”, “Pro Logic” and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

“DTS” and “DTS Digital Surround” are trademarks of Digital Theater Systems, Inc.

Circle Surround II, SRS and (●)® symbol are trademarks of SRS Labs, Inc.

Circle Surround II technology is incorporated under license from SRS Labs, Inc.

株式会社 **マランツ** コンシューマー マーケティング

〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2 茅場町タワー13F

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

<http://www.marantz.co.jp>